

第1回郡山市子ども・子育て会議 会議録

【日時】平成25年8月28日（水）午後3時～午後4時10分

【場所】庁議室

【次第】1 開会

2 市長あいさつ

3 委員紹介

4 事務局紹介

5 会長・副会長選任

6 会長・副会長あいさつ

7 議事

(1) 郡山市子ども・子育て会議について

(2) 子ども・子育て支援新制度について

(3) ニーズ調査の実施について

(4) 今後のスケジュールについて

(5) その他

8 その他

9 閉会

【出席委員】16名（敬称略）

吾妻 利雄 遠藤 重子 遠藤 智子 大川原 順一

菊池 信太郎 相楽 正人 佐藤 広美 鈴木 ミドリ

瀧田 勉 滝田 良子 丹藤 茂 平栗 裕治

古川 一浩 保住 キミ 安田 洋子 横山 智恵

【欠席委員】4名（敬称略）

大和田 新 太神 和廣 鈴木 宮子 峯 淳子

【事務局職員】12名

こども部：寺西仁（部長）、鈴木武泰（部次長）、加納清史（部次長）野口雅世子（部次長兼こども支援課長）

こども未来課：三瓶克宏（課長）、寄金孝一（主幹兼課長補佐）、古川誠（こども企画係長）、西名華奈子（こども企画係主任）

こども支援課：宗方成利（こども支援課課長補佐）

保育課：熊田仁（課長）、矢部俊明（課長補佐兼保育所係長）、井上薫（管理係長）

【配布資料】

郡山市子ども・子育て会議 委員一覧

資料1：郡山市子ども・子育て会議について

資料1-1：郡山市子ども・子育て会議条例

資料1-2：子ども・子育て支援法（抄）

資料2：子ども・子育て支援新制度について

資料3：ニーズ調査の実施について

資料4：今後のスケジュールについて

（参考資料）調査票のイメージ

会議内容

1 開会

（**寄金主幹**）第1回郡山市子ども・子育て会議を開催いたします。会長が選任されるまでの間、会議の進行を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

2 市長あいさつ

（**寄金主幹**）品川萬里郡山市長から御挨拶申し上げます。

（**市長**）郡山市長の品川萬里でございます。この度は子ども・子育て会議委員に就任いただきありがとうございます。この会議は、子ども子育て支援法に基づく会議であります。私の認識においては、日本の持続可能性を模索する会議であり、子どもの将来そのものが、日本の将来に直結するものと考えております。

特に福島県においては、子ども達が育つには誠に申し訳ない環境を作ってしまった訳でございまして、いかに回復して、将来を担う子ども達に良い郡山をバトンタッチできるかどうか、そういう会議と考えております。

子育てについては、国の行政機関において厚生労働省あるいは文部科学省だけの担当分野ではなく、全省庁が関わる問題と思っております。子ども達が元気に育てられないと、10年後、20年後の社会が持ちません。そういう意味では将来の雇用政策でもあります。北欧においては、少子化問題は安全保障の問題として捉えられております。少子化は、日本国の安全保障に関わる問題です。産業政策、雇用政策、あらゆる分野の英知を結集して取り組むべき課題と認識しておりますので、どうか広い視野でご検討いただければ幸いです。

委員各位から存分に問題点を出していただいて、それらを整理した上で議論を進めていただきたいと考えておりますので、それぞれの立場で御意見を出していただきたいと思います。私も出来るだけ参加させていただいて、口は開けず耳はしっかり開けて皆様のご意見を伺いたいと存じます。委員の皆様は、団体としての意見、個人としての意見、両方出

していただければ幸いです。事務局の取りまとめとしては、その辺に配慮して素案を作成してまいりますので、どうぞ未来の子どもたちのために素晴らしいご見識・ご知見に基づいてご審議いただきたいと思います。どうかよろしく願いいたします。

3 委員紹介

【配布資料】郡山市子ども・子育て会議 委員一覧」に基づき委員紹介。

4 事務局紹介

出席事務局職員について紹介

5 会長・副会長選任

(寄金主幹)次に、会長及び副会長の選任でございますが、会長及び副会長につきましては、郡山市子ども・子育て会議条例第4条の規定により、委員の互選によって定めることとなっておりますが、どのようにいたしましょうか。

【「事務局一任」の声あり】

(寄金主幹)「事務局一任」との御発言がありました。委員のみなさま、よろしいでしょうか。

【「異議なし」の声あり】

(三瓶課長)それでは、事務局案を申し上げます。会長につきましては滝田良子委員に、副会長につきましては平栗裕治委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

【「異議なし」の声あり】

(寄金主幹)それでは、滝田良子委員に会長を、平栗裕治委員に副会長をお願いいたします。滝田良子会長、会長席にお進みください。

【会長が会長席に移動】

(寄金主幹)さっそくではございますが、会長からごあいさつをいただきたいと思います。

6 会長・副会長あいさつ

(滝田会長)ただいま会長に選任されました、郡山女子大学短期大学部の滝田良子でございます。この度、委員の皆様とご一緒に平成27年4月から施行予定の子ども・子育て支援新制度について審議をしております。先ほど市長からいただいた言葉の内容は身にしみ、委員の皆様も同じようにお感じになっているのではないのでしょうか。郡山に住んでいる市民の皆様、それから子育て中の皆様もこの会議に期待していると思います。どうか、委員の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

(平栗副会長)ただいま副会長に選任されました、郡山市私立幼稚園協会会長の平栗裕治でございます。市長の言葉にあったように郡山の子ども達が元気にならなければ郡山の復興はありません。毎日、子ども達のにこやかな笑顔に支えられて毎日活動しています。郡山

の全ての子ども達が幸せになることが郡山の復興になると思います。そのために、重要な会議になると思いますが、会長を支え、皆様と有意義で実り多き会議にしたいと存じます。どうかよろしくお願い致します。

7 議事

(寄金主幹) 次に議事に入らせていただきますが、本会議の議長につきましては、郡山市子ども・子育て会議条例第5条第1項の規定により、会長が務めることとなっておりますので、これから先の会議の進行につきましては、滝田会長をお願いいたします。

(滝田会長) それでは、ただいまから「第1回郡山市子ども・子育て会議」の議事に入って参りたいと思います。なお、議事に入る前に、会議の公開につきましては「郡山市附属機関の会議の公開に関する要領」に基づき、原則公開とすることとされておりますので、今後本会議につきましては公開することで御了承いただきたいと思ひます。

また、委員の皆様には、積極的に御発言をいただくとともに、本会議の円滑な運営のため御協力をいただきますようお願いいたします。

それでは、議事の1番「郡山市子ども・子育て会議について」事務局の説明をお願いいたします。

【事務局（三瓶課長）資料1、1-1、1-2により説明】

(滝田会長) ただいまの事務局の説明について、御意見、御質問などがございましたら伺ひします。

【意見、質問等なし】

(滝田会長) それでは、議事の2番「子ども・子育て支援新制度について」事務局の説明をお願いいたします。

【事務局（三瓶課長）資料2により説明】

(滝田会長) ただいまの事務局の説明について、御意見、御質問などがございましたら伺ひします。

(鈴木ミドリ委員) 現状と課題については、これは国の現状と課題なのか、それとも、郡山市の現状と課題なのか。郡山市の現状と課題であれば、その根拠となるデータ等について示していただきたい。

(三瓶課長) 全体をイメージしていただくため、国が示している一般論としての現状と課題について説明しました。必ずしも郡山市の現状と一致するものではないので、郡山市の現状と課題については、ニーズ調査などを行いながら、掘んでいきたいと考えております。結果については、委員の皆様にもお示します。

(寺西部長) まずは、国としての課題があり、これに基づいて作成されたニーズ調査票について国からひな形が提示され、これから、郡山市として把握すべき課題を含めた独自のニーズ調査票を作成します。その中で、今後、委員の方々には、郡山市が今まで行ってきた保育行政において、課題と思われる内容を含めた郡山市の現状と課題について資料等をお

示して、皆様の意識の共有化を図っていきたいと考えています。

(菊池信太郎委員) この会議の対象がほぼ未就学児に絞られているように思いますが、この会議における子どもの定義は？

(寄金主幹) 児童福祉法上は 18 歳未満となっております。この会議で審議いただく事業は主に未就学児を対象とするものですが、児童クラブは小学校 6 年生まで含まれます。今後策定する計画を考えると児童福祉法で定められる 18 歳が一つの目安と事務局としては捉えております。

(吾妻利雄委員) 郡山市にはエンゼルプランがあり、それに多少修正等が加わりながら動いていると考えられるので、そういう資料を会議の前に示していただき、今まで郡山市としてどういう動きをしていたのか説明があるとニーズ調査の話等、前に進みやすいと思われます。

(古川係長) エンゼルプランの資料は次回会議で提示します。

(平栗裕治委員) 今度の子ども・子育て支援新制度については、国の制度であり、これについて共通理解が入らないと、次の段階に進まないと思います。

(古川係長) 資料については準備して、後日委員の皆様配布します。

(安田委員) 資料は会議当日に提示されても、その場で検討することは難しいので、事前に配布していただき、読み込む時間が必要です。また、郡山市の実態がどうなっているのか示されないと、漠然と進めていっても焦点が定まらないと思われます。

(寄金主幹) 資料を速やかに作成し、事前に委員の皆様配布します。現状と課題については、さきほど吾妻委員からあったように、エンゼルプランの中で合計特殊出生率、子ども達の年齢別の人数、幼稚園・保育所の利用人数等示されているので、準備します。

(鈴木ミドリ委員) エンゼルプランの中には、この前の震災によって被災し郡山に住んでいる子ども達は含まれていないと思うので、実際に郡山市に住んでいる子ども達がどういった状況にあるのかを把握することも考えていただきたい。

(寄金主幹) ニーズ調査については、避難者を対象としたものも実施しようと検討しており、そういう方々の意見、状況も反映した計画を策定したいと考えております。また、今回策定する子ども・子育て支援事業計画においては対象が未就学児童を中心ではありますが、エンゼルプランは次世代育成推進法に基づいて策定されたものです。これが延長されるかどうかは国の子ども・子育て会議において現在審議されております。ただし、郡山市としては、エンゼルプランは、ワークライフバランス、妊婦検診など全体的な子ども子育てに関する支援制度であり、今度策定する子ども・子育て支援事業計画に含めていきたいと考えております。

(吾妻委員) 被災者も含めると、非常に不確定になるので、あまりそこに重点をおくと想定する利用人数と実際の利用人数に差が出てくるのではないかと。

(寄金主幹) 福島県でも同様の支援事業計画の策定あたり、被災者の取扱いについて検討中であり、県との意見交換もしながら、それを的確に定められるような情報を委員の皆様

様にお知らせし、利用定数等を定めたいと考えております。

(滝田会長) 今回は国の制度の概要説明であり、郡山市の現状についての説明はありませんが、これについては次回ということによろしいでしょうか。事務局で郡山市の子ども達についての全体像を次回までに準備をお願いします。

それでは、議事の3番「ニーズ調査の実施について」事務局の説明をお願いします。

【事務局（西名主任）資料3により説明】

(滝田会長) 委員の方々からこのことについて、御意見、御質問はありますか。

【意見、質問等なし】

(滝田会長) 次に議事の4番「今後のスケジュールについて」事務局の方から説明をお願いします。

【事務局（西名主任）資料4により説明】

(滝田会長) ただいまの事務局の説明について、御意見、御質問はありますか。

【意見、質問等なし】

(滝田会長) 5番のその他、その他について何か御意見はありますか。事務局からは何かありますか。

(三瓶課長) 事務局からは、特にありません。

(滝田会長) 議事の内容を確認します。1点目は、資料については事前に配布をお願いしたいこと。2点目は、郡山市の現状を把握するためのニーズ調査との事務局の回答でしたが、現状を踏まえた上での調査を行うことができないか検討いただきたい。3点目は、国が示したニーズ調査の内容に、郡山市の災害後の状況も含めて検討するということ。事務局には、次回会議まで準備をお願いします。

以上で、予定されていた議事は全て終了いたしました。委員の皆様には本当に活発なる御意見をいただきまして、ありがとうございました。それでは、進行を事務局のほうに引継ぎます。

8 その他

(寄金主幹) 滝田会長におかれましては、円滑な会議進行ありがとうございました。その他、委員の皆様から何かございますか。

(菊池委員) 2点申し上げます。1点目は、私は復興庁復興推進委員会の委員であり、この郡山をモデルに、子ども達のための提言をしております。その内は今日お配りした冊子（東日本大震災からの復興の状況とその取り組み（平成25年7月版）<http://www.reconstruction.go.jp/topics/main-cat1/sub-cat1-1/201307090001.html>）の17ページをご覧ください。2点目は、気になっていることです。今日、私の診療所に来た御両親と子どもの様子ですが、子どもは具合が悪くて待っている間に泣いているのですが、御両親はスマホを見ています。子どもは泣いてずっと「お母さん」って言っているわけですね。こういう子はやはり多いです。子ども・子育て支援新制度の内容が、

待機児童、子育て支援等、保護者が子育てをしやすい環境を作ること自体は良いと思いますが、結果としてそこに生きる子ども達がついていくことが抜けています。親にとってこのような利用しやすい便利なものが増えてくると、親の子育てをする力が弱くなることを懸念しています。今回のこの制度の趣旨に「保護者が子育ての第一義的責任を有する」と書いてありますので、ここを中心において進めない限り、良い制度ができたとしても、子ども達はあまり幸せじゃない、そういったことになってしまうのではないかと懸念しております。

(寄金主幹) ありがとうございます。そのほか何かございますか。

(鈴木ミドリ委員) 委員名簿だけではなく、事務局職員名簿もお願いします。

(寄金主幹) 事務局職員名簿を作成して配布します。そのほかには皆様方から何かございますか。なければ事務局から説明させていただきます。

(西名主任) 第2回会議の日程について、10月3日木曜日の午後1時30分から開催したいと考えておりますが、皆様の御都合はいかがでしょうか。

(寄金主幹) それでは、次回開催は10月3日木曜日午後1時30分からということでしょうか？後日開催通知につきましては、郵送させていただきます。場所につきましてもその中でお知らせしますので、どうぞよろしく願いいたします。

それでは、以上を持ちまして、第1回郡山市子ども・子育て会議を終了させていただきます。委員の皆様には、長時間にわたり、誠にありがとうございました。